

概要版

焼津市水安全計画



【上泉配水場配水池】

～安全な水の安定供給のために～

平成 28 年 7 月改訂

焼津市水道事業

はじめに

焼津市水安全計画とは、より安全でおいしい水の安定供給を目指して、水源からお客様の蛇口までの水道水の品質管理を徹底するプログラムです。

この水安全計画は、食品業界で導入されている衛生管理手法（HACCP※）を参考とし、客観的な手法により、安全で安心できる水道水を安定供給する水処理手順の構築を目指すものです。

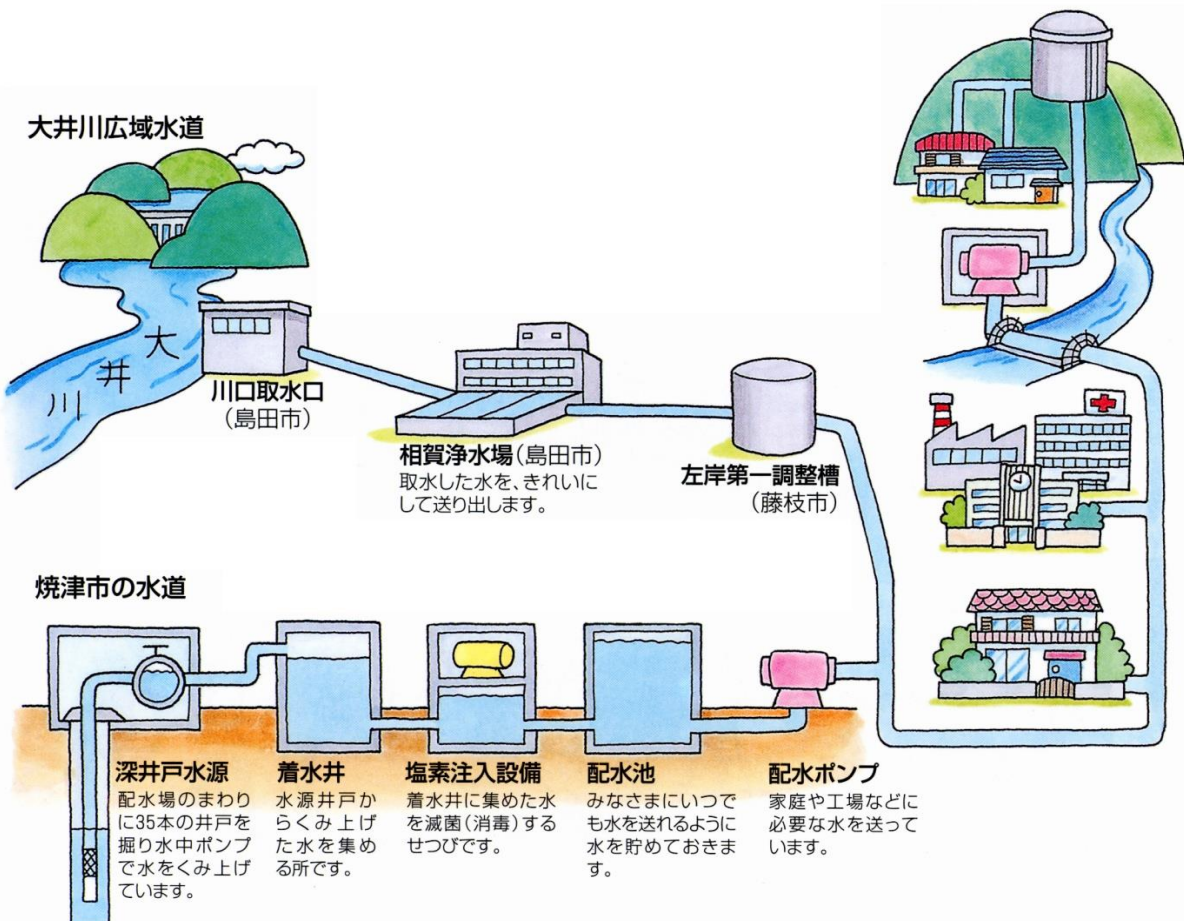
焼津市水道事業は、「焼津市水安全計画」を全ての水道施設で運用し、これからも“安全でおいしい水道水”の安定供給を目指します。

※ HACCP : Hazard Analysis and Critical Control Point (危害分析と重要管理点)の略。
食品原料の入荷から製品の出荷までのあらゆる工程においてあらかじめ危害を予測し、その危害を管理できる重要管理点で継続的に監視することで、食中毒などを起こすおそれがある不良品の出荷を未然に防止する衛生管理手法。

焼津市の水道システム

焼津市の上水道は、35本の井戸を主な水源とし、一部を大井川広域水道より受水して市内のほぼ全域へ4つの配水場から水道水を供給しています。また、焼津市内には、井戸を水源とした6つの専用水道があります。

焼津市の水道水は、良質な水を原水としているため消毒だけを行い、配水ポンプにより圧力を加えて供給しています。



リスクの抽出と分析

焼津市の水道システムで想定されるリスクを拾い出し、発生した場合の影響を分析しました。その結果、次のようなリスクがあることを再確認しました。

《代表的なリスク》

水源・・・井戸の破損、テロ攻撃
配水場・・・薬品の不適切な注入、テロ攻撃
蛇口まで・・・配管の劣化



《影響を受ける主な水質》

残留塩素・濁度・臭い・農薬類・大腸菌・毒物 など

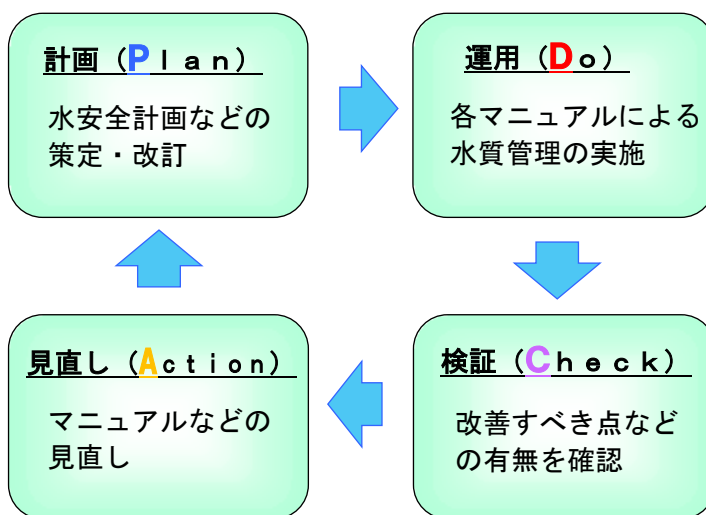
対応マニュアルの作成

拾い出したリスクへの対応方法を明確にし、管理基準からの大幅な逸脱や予測できない事故、テロ等による緊急事態が起こった場合は、「焼津市水道事業危機管理マニュアル」により、速やかに対応措置を講じます。

水安全計画の定期的なチェックと見直し

P D C Aサイクルによる定期的なチェックを行い、水安全計画の見直しと改訂を定期的に行います。

また、水道施設の変更を行った場合や水安全計画のとおり管理したにもかかわらず、水道の機能に不具合を生じた場合などには、随事、見直しと改訂を行い水道水の安全性をさらに向上していきます。



【水安全計画に関するお問い合わせ先】

焼津市水道事業 水道工務課
〒425-0045 静岡県焼津市祢宜島 20 番地の 1
TEL 054-624-0111 FAX 054-623-6926
E-メール suidou_koumu@city.yaizu.lg.jp